

受付番号
先進第 2224 号
研究課題名
腫瘍・炎症病態におけるマクロファージの病理組織学的解析
研究期間
(後で承認日を記入)から 2025 年 3 月 31 日まで
研究の目的・方法
<p>腫瘍や様々な炎症性疾患の進展において、多くの局面でマクロファージが関与すると考えられています。腫瘍内に浸潤したマクロファージは、TAM(tumor-associated macrophage)と呼ばれ、腫瘍の増殖や転移、浸潤、血管新生、免疫抑制に関与しています。TAMの多くは血液単球に由来し、腫瘍細胞由来のCCL2(MCP1)やGM-CSF, M-CSFにより腫瘍局所へ遊走してきます。腫瘍局所では腫瘍由来因子や低酸素状態などによりマクロファージはM2寄りの活性化状態に誘導され、悪玉マクロファージとして腫瘍の進展に寄与しているようです。そのためマクロファージを標的にした治療法の開発も試みられています。本研究では診断や治療のために病理学的検査が行われた腫瘍あるいは炎症性疾患症例のパラフィン包埋ブロック検体を用いて、マクロファージの数と活性化状態、ならびに臨床病理学的因子との相関について免疫組織学的に解析します。本研究成果により、腫瘍あるいは炎症性疾患の進展を反映する新規分子マーカーを同定し、新たな分子診断や治療法開発への応用が期待出来ます。本研究成果により、腫瘍や様々な炎症性疾患の進展度を反映する新規分子マーカーを同定し、新たな分子診断や治療法開発への応用が期待出来ます。この研究では、以前の検査で当院あるいは産業医科大学病院、出水総合医療センター、天草地域医療センター、山鹿市民医療センターに保存してある生検、手術病理標本の一部を利用させていただきます。この標本は、すでに患者さんの状態確認や病期の診断等に使用されたものです。この研究のために患者様に費用負担をお願いすることはありません。</p> <p><u>本研究は後ろ向き観察研究で、具体的には腫瘍検体のパラフィン包埋ブロックを対象として、マクロファージの CD163 発現や CD204 発現など腫瘍細胞の増殖や免疫細胞に関連する分子の発現を免疫組織学的検討により定量的に評価します。これらの結果と各疾患の臨床病理学的因子との相関性を後ろ向きに解析します。</u></p>
研究の対象となる方
2000 年 1 月から 2024 年 12 月の期間に熊本大学病院、産業医科大学病院、出水総合医療センター、天草地域医療センター、山鹿市民医療センターにおいて、腫瘍あるいは炎症性疾患に対し病理学的検査を施行された症例を対象とします。
研究に利用する試料・情報
以前の検査で当院に保存してある病理標本、パラフィン包埋ブロック 診療記録(カルテ)や画像検査データ
<ul style="list-style-type: none">治療前データ(年齢、性別、腫瘍占拠部位、腫瘍径、腫瘍マーカー、血液データ、BMI、併存症等)病理データ(組織型等)治療後の状態(再発の有無、再発した場合の臓器、生存確認)
研究機関の名称並びに研究機関の長及び研究責任者の氏名
研究機関名称:熊本大学大学院生命科学研究部 研究機関の長:山縣 和也 研究責任者:菰原 義弘 細胞病理学講座 教授
研究に関する資料の入手・閲覧について
ご要望があれば、患者様とご家族が読まれる場合に限り、他の患者様の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内において、この研究の計画書をご覧いただけます。下記担当者までご連絡ください。

個人情報の取り扱いについて

1. 個人情報は研究のために特定した目的、項目に限り適正に取得、利用します。
2. 取得した情報を用いて解析した研究の結果は、論文や学会発表として公表されますが、公表される情報には個人を特定し得る情報は含まれませんのでご安心ください。
3. 取得した情報は万全な安全管理対策を講じ、適切に保護し慎重に取り扱います。
4. 個人が特定できる情報が熊本大学から外部に出ることはありません。
5. 本研究で取得し管理している情報に関して、開示、訂正、削除、あるいは第三者への開示、提供の停止を希望される方は、担当医師までご相談ください。
6. 一般的な質問や苦情がある方は、下記の対応窓口までご連絡ください。

利益相反について

本研究は、国から交付された研究費(運営費交付金、科学研究費など)によって行われる予定ですが、本研究に携わる全研究者によって費用を公正に使った研究が行われ、本研究の公正さに影響を及ぼすような利害関係はありません。本研究における利益相反に関する状況は、熊本大学大学院生命科学研究部等臨床研究利益相反審査委員会の審査を経て、熊本大学大学院生命科学研究部長へ報告しています。

お断りの申し出について

この研究に、ご自分の血液、病理標本やデータを使用してほしくないと思われる場合は、その旨下記の対応窓口までお申し出ください。それまでに収集されたデータを一切使わないようにすることができます。その場合でも、通常の診療などで不利益を受けることは全くありません。上記の調査期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

お問合せ・ご相談への対応窓口

担当医師: 菰原義弘

熊本大学大学院生命科学研究部 細胞病理学講座

—連絡先—

〒860-8556 熊本県熊本市中央区本荘 1-1-1

電話 096-373-5540/096-373-5095